

## 事例紹介

### 秋田県医療連携ネットワークシステム

あきたハートフルネット

 <http://www.akita.med.or.jp/heartful/>

#### システムの概要

#### システムの実施目的・地域など

#### 参加団体数と参加患者数

#### 参加の同意方法について

#### 患者さんの同意取得の詳細

#### サービスについて

#### 共有できる情報項目

#### 共有情報の取得元

#### システムについて

#### 通信ネットワーク

#### ログインセキュリティ

#### 主なIT企業

#### サービス利用・参加料金

#### 蓄積された個人情報の利用

#### 予算について

#### 費用の負担について

### システムの概要

システム名	秋田県医療連携ネットワークシステム
代表団体	一般社団法人秋田県医師会
運用開始状況	導入済み：2014年
稼働状況	サービス運用中
運用終了年	
提供地域	秋田
自治体の参加状況	協議会メンバーとして参画中
事務局運営人数	兼任3人

### システムの実施目的・地域など

システムの導入目的	医療連携
地域の課題	小児高齢化の急速な進行や、がん、生活習慣病等による高い死亡率、また、地域における医師の不足、偏在など、多くの課題を抱えている一方で、増加する認知症患者さんへの対応や在宅医療の充実を図っていくためには、限られた医療資源

	(施設・設備、人材)の有効活用と合わせ、「医療連携」の実効を高めるための具体的な取組みが不可欠である。
システム導入効果 凡例：(○)効果あり、 (△)どちらとも言えない、(×)効果なし	(△)患者サービスが向上した (△)患者の負担が軽減した (△)医療機関間で機能分化が進んだ (△)医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ (△)医療機関間の人的ネットワークが進んだ (×)医師の偏在を補う効果があった (○)患者紹介の円滑化が進んだ (△)地域中核病院のサポートが受けられるようになった (△)診療所の支援が受けられるようになった (×)業務全体の負担軽減 (×)医師の負担軽減 (×)看護師の負担軽減 (×)事務職員の負担軽減 (×)技術職員の負担軽減 (△)従事者間の情報共有が向上した (△)従事者間の連携が向上した
システムの課題	参加医療機関が増えず、効果を検証するに至っていない。
工夫した点	患者の連携における紐付け作業・操作方法の説明に苦労。
対象地域	全県域での連携

## 参加団体数と参加患者数

参加団体と参加患者数	【病院】実施中：10施設 【医科診療所】実施中：14施設 【歯科診療所】 【薬局】 【介護施設】 【その他】
利用施設数の割合	
登録患者数状況	実績数
登録患者数	950
情報共有している患者状況	
共有患者数	

## 参加の同意方法について

医療機関等	医療機関地域全体で参加 医療機関施設毎の参加判断
介護施設・その他	

患者さん	患者一括同意
------	--------

## 患者さんの同意取得の詳細

新規の患者さん	同意書による取得
撤回する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
連携先の増加	

## サービスについて

疾病	その他
サービス	電子紹介状、退院時サマリ、画像情報の共有
補足・備考	連携の対象となる疾患は特定していません。

## 共有できる情報項目

基本情報	患者基本情報、病名情報
文書	診療情報提供書
オーダー情報	処方オーダー、注射オーダー、検体検査オーダー、放射線検査オーダー、内視鏡検査オーダー、生理検査オーダー、食事オーダー
検査結果	画像
調剤結果	
その他	

## 共有情報の取得元

共有情報の取得元	病院電子カルテより、病院レセコンより、医科診療所電子カルテより
----------	---------------------------------

## システムについて

連携方式	集中型、分散型、クラウド型 DICOMのみ分散型
情報共有の形態	双方向での共有、参照のみ
患者IDシステム	ID-Linkシステムを利用、独自開発のシステムを利用
標準化ストレージ	
情報の保存場所	各医療機関の院内、院外のデータセンター ハイブリッド方式のため、保存先は両方となります。
障害対策	提供ベンダーのサービスを利用、磁気メディア等別媒体への保存
厚労省標準規格の採用	患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書、医療におけるデジタル画像と通信、JAHIS臨床検査データ交換規約、JAHIS放射線データ交換規約

## 通信ネットワーク

医療機関等との通信	医療機関との通信専用線、医療機関との通信IP-VPN、医療機関との通信インターネットVPN、医療機関との通信その他のVPN
介護施設・その他施設との通信	
患者さんとの通信	

## ログインセキュリティ

医療機関・薬局用	IDとパスワード 独自認証局
介護施設・その他施設用	
患者さん用	

## 主なIT企業

企業名（1）	日本電気（株）
企業名（2）	

## サービス利用・参加料金

病院（開示施設）	実施中：有料 月額：4000円 補足：システム維持に別経費が発生
病院（閲覧施設）	実施中：有料 月額：4000円 補足：税別、年払い
診療所	実施中：有料 月額：4000円
薬局	実施中：無料
介護施設	実施中：無料
患者さん	実施中：無料

## 蓄積された個人情報の利用

地域の医療費適正化の目的 で利用	
学術研究等の公益目的で利用	
公益目的以外で利用	

## 予算について

構築費用概算	235620（千円）
年間運用費用概算	7049（千円）
保守費概算	4212（千円）
その他年間費用概算	

## 費用の負担について

実施中システム構築費の負担	自治体の負担
実施中システム運用費の負担	参加施設の負担
実施予定システム構築費の負担	国の負担（厚労省）
実施予定システム運用費の負担	

[← 事例一覧へ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

▶ 医療情報連携ネットワークはなぜ必要？

- ▶ 出発点は地域医療を良くしたいという思い
- ▶ 医療情報連携ネットワークの導入効果
- ▶ 利用者の声（導入効果）

▶ 医療情報連携ネットワークをどう作る？

- ▶ 医療情報連携ネットワークの構築手順
- ▶ 実施のポイント
- ▶ 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ▶ ガイドライン、書式例など

▶ 医療情報連携ネットワークの具体例を見る

▶ 医療情報連携ネットワークとは

- ▶ データで見る
- ▶ ピックアップ事例
- ▶ 事例を探す

▶ 構築手順

- ▶ 構築手順について
- ▶ Step1：計画
- ▶ Step2：構築
- ▶ Step3：運用
- ▶ Step4：更改

▶ FAQ

- ▶ 用語集
- ▶ お役立ち情報
  - ▶ リンク集
  - ▶ 資料ダウンロード